



題字 草原田 親

No. 488

2006/09/25

# 日中友好新聞

発行所  
日本中国友好協会  
〒111-0033  
東京都中央区本町2-1-3  
日中ビル5F  
電話 03(5279)2140(FD)  
FAX 03(5279)2141  
http://www.jcf-jc.jp  
E-mail: nakachou@jcf-jc.jp  
社址 06119-1-2117E

日中友好協会  
岡山支部  
〒708-0034  
岡山市北区下伊福  
西町1-53 民生会館1F  
TEL: FAX 0861 258-8808

日中友好協会  
倉敷支部  
〒713-8031  
倉敷市福町西町22461-41  
TEL: FAX 0861 411-7808

日中友好協会岡山支部ホームページ  
http://zhong.web.infoseek.ac.jp  
新・メールアドレス  
rzhong86@hotmail.co.jp

## “勿忘九・一八”街頭宣伝

### —ありがとう カンパ2万6千!!—

9月18日、この日なんの日?

午後1時半から3時まで、天満屋本店アリスの広場まで、孤児訴訟を支える署名とカンパを市民に訴え、チラシ2種300枚ずつをくばりました。

チラシは①満州事変75周年のこと、②孤児問題を考える集案案内です。

長的小林軍治さん。

その他7人の参加者は、井上愛子、大森久雄(日中倉敷支部長)、岡崎政憲、正司金一、竹内和夫、鍋島辰夫、山根政夫の各氏でした。

短い時間でしたが、神戸地裁あての署名が75筆あつまり、孤児支援のカンパがなんと2万6千709円も寄せられました。宣伝行動参加のみなさん、市民のみなさん、ありがとうございました。(竹内)



9・18街頭宣伝 孤児訴訟原告団長と弁護団長

## 中国語講座

### 第10期('06年10月~'06年3月)受講生 募集!

《無料体験講座 10月第1週》

旭公民館・毎金曜日 18時半~20時半 入門、初級クラス、

・毎火曜日 18時半~20時半 初級クラス

大元公民館・毎金曜日 18時半~20時半 中級、上級、研究クラス

岡輝公民館・毎金曜日 18時半~20時半 やさしい日常会話

\*見学はご自由に。しかし準備の都合上 事前にご連絡ください。

\*受講料は月額「3500円」、高校生以下「2000円」、

日中の正会員「3000円」です。

3ヵ月ごとの前納です。入学金など不要です。

\*テキスト代金は、別途各自の負担になります。

\*連絡をくだされば、受講案内をお送りします。

【主催: 日中・岡山中国語委員会】

お問い合わせ先: 日中携帯 090-7542-6139

## 太極拳30周年に岡山から12人

### —全国から東京へ2200人—

9月3日(日)10時から足立区の東京武道館で、日中友好協会太極拳普及30周年の全国交流会が開かれました。10年まへの20周年のとき約800人の参加でしたから、質量ともに3倍になり、岡山から青木正、青木富美子、青木正美、岡田民、小川涼子、河田淑子、小坂依子、竹内和夫、服部富美子、光本紀子、余公昌子、吉岡伸子の12人が参加、うち7人は初参加でした。午後3時までに39組の表演、岡山からは青木実行委員の個人表演のほか、風華24式に11人、70才以上24式に1人、太

極扇に10人が参加しました。青赤白黒黄など色とりどりのユニフォームがフロアーいっぱいひろがって舞いました。最後の表演 障害者も健常者ももにできる太極拳(和歌山)は、♪野に咲く花のように...の曲とともに感動を呼びました。

### みなさんの感想です。

- ★ 次回はみんなをさそって行きたい。とてもいい勉強になった。
- ★ たくさんの人の演技を見せてもらって、うれしかった。
- ★ 他県の人との交流が深まってよかった。
- ★ よそで表演するという目標があると、新しいこと(今回は扇をおぼえられてい)。
- ★ 宮城県とならんで扇をやったが、岡山の方がよくできたようだ。
- ★ 新幹線も座れて楽しいおしゃべりができた。
- ★ 全国のすごいふんいきを身近に感じた。



太極拳全国交流会 東京武道館

## 最後の証人尋問 日本語で証言

### 岡山地裁 第12回口頭弁論開かれる

最後の証人尋問が9月13日(水)岡山地裁で開かれました。04年の2月に始まった岡山の孤児裁判における最後の証人尋問を、香川の原告・大西慶子さんと岡山原告・今岡泰子さんで行いました。二人とも日本語によるものでした。

### 奥津弁護団長

### 裁判終結へ決意を述べる

裁判後の記者会見で奥津弁護団長は次のように訴えました。今日は証人尋問の最終日となりました。今岡・大西さんの感情あふれる陳述には、聞く人を感動させるものがあったと思います。家族それぞれと別れ方は劇的なものです。しかし、この悲惨な別れをせねばならなかった事情は、日本ではよくわかっていました。日本の政府は救出しようと思えば簡単にできたケースでした。にもかかわらず、なら手を差し伸べず、そればかりかそれらを妨害する手段に出たのです。

これからは準備書面の準備が、たくさん残っています。法廷で陳述や尋問が行なわれなかった人たちの準備書面を裁判所提出する仕事が残されています。神戸、東京などなど、これからは次々と裁判が終結を見る段階にきています。これからはがんばる決意です。これからも支援をお願いします。

### 次回の裁判は11月1日(水) 第13回口頭弁論

いよいよ岡山地裁の最終を迎えるであろう裁判が開かれます。今後の裁判の見通しは、結審の後、いよいよ判決の日取りが発表されます。最終を迎える裁判へ、大勢の人たちの傍聴をお願いします。

### 神戸の裁判へ

### 公正判決要請の署名を

7月14日に結審した神戸地裁の裁判。東京よりも早く判決が出されるのが決まりました。判決は12月1日と決まりました。現在「二」向けての署名活動にとりかかっています。ひとりでも多くの方の署名が必要です。力をお貸しください。(支える会事務局 澤山博二)



次回の新聞送付作業は10月2日(月)午後1時半、民主会館2階で行ないます。前回お手伝い下さった方です。

小林 和  
澤山 内  
竹内 和  
竹内 装  
坪井 服  
服部 部  
三垣 三

# 美波先生による中国事情



## 春節の中で忘れられない人々

旧正月つまり春節(今年は1月29日)は中国の年中行事の中で最も重要なものの一つである。

東北の道化踊り、南方の田植え踊り、内陸部の高足踊りなどは、その地方の風土や文化を顕示しながら、健康、豊作、成功などといった祈願をこめて街を練り歩き、正月のムードをかもし出している。

爆竹を放ち、除夜の鐘を聞きながら、餃子を食べる。今年は13年ぶり爆竹の解禁、特別に賑やかな正月となった。一日早朝、道路や空き地は爆竹のカスで真っ赤に染まり、町中は空高く連なる大きな赤提灯に彩られていた。中国は本当に豊かになっている。

しかし、中国は貧富の落差が大きいと百も承知である。春節こそ急成長の社会発展と繁栄の波に乗れなかった人々を思い出して見たいものである。

年末から国をあげて、大道、博愛、奉仕」というスローガンが掲げられ、お年寄り、孤老、身障者等に「愛心」を捧げる活動を取り込んでいる。

深圳経済特別区では、政府の呼びかけで深圳福利センター孤児院に社会からの思いやりが届けられている。香港マカオの華僑たちが治療費を寄せ、ここ数年業績好調な広州自動車産業の代表たちは椅子と大きなケーキを孤児たちに届けて、子どもたちと一緒に親睦会を行った。



椅子とケーキが孤児たちに届けられている

ど莫大な資金が必要である。このような施設ではより幅広い社会の支援が期待されている。

年末このセンターは子どもたちの心身発達を考えて、家庭の優しさ、社会の暖かみを感じさせるためにボランティア家庭を募り、100名の孤児が応募した100の家庭で正月を過ごしたという。

天津ボランティア協会のメンバーたちによって、正月の前にお年寄りのために掃除、ギョーザなど年越しの料理を作り、身寄りのないお年寄りとお話をする人を派遣する活動が展開されていた。老人ホームでコンサートも行われ、お年寄りたちに楽しいお正月を届けた。

(経済力のある女性たちが生活困窮のため退学せざるを得ない子どもたちの支援をする)は2005年で、200421人の子どもたちが代理母の助けを受けて学業を終えたという統計があった。

ある食品加工グループは業績好調で、社会奉仕活動の一環としてチベットで小学校を二箇所作った。などなど全国各地では枚挙にいとまがないほどの慈善事業が行われており、弱い人々は忘れられていないと言えるだろう。

2005年度国民経済と社会発展白書では全国的な福祉資金の状況が発表された。社会福祉宝くじの売り上げが411億元(1元14円)、社会福祉基金144億元、社会からの募金が29億元、親善団体からの寄付金が250万元、合計して584億元余が集まった。その他各省、各市中も福祉宝くじを発売しているという。近日全国人民代表大会では弱者対策を大きく出し、社会全体の調和を図っている。中国において福祉の環境整備は今後もどんどん行われていくだろうと思う。(川崎医療福祉大学教授・社会学)



写真は深圳福利センター孤児院で孤児による出し物です。



## 私の20年はこれから

岡山きりえの会 名香会代表 横谷敦子

ひとたび何かを始めたら、私の場合その事を20年は続けてみることにしている」とせんだって道化教室で発言した。

今年4年だから、あと16年は続けなくてはねえ」と言ったら、若い人達から笑いと大拍手。きり絵と違って身体をつかうことの多い道化の修行が本当に続くかどうか、元気で居れるかどうかもわからないが、私自身は大真面目。少々よぼついた婆さんのボケ道化も結構面白い味が出るに違いない、と心は憧れのチャップリンへ向かっている。

きり絵の20年はあつという間だった。1986年事務所をこの鹿田町へ移して間もなく、日中友好協会会員の渡辺啓子さんからの話で、月に2回きり絵教室が始まった。最初は場所を提供するだけということから、私自身作品づくりをする気になったのは坂部信子さんとの出会い、と言うしかない。それから2年ほどして各グループが集まって岡山きりえの

会結成、第1回岡山きり絵展を開催する運びとなった。案内状は長老の長野いしさんの作品、バラの花にした。モノクロ印刷だが、花大好きな彼女の息吹が今見ても感じられる。そんなに早く岡山展が出来るとは思っていなかった、ほんとうに嬉しい!と坂部先生がとても喜ばれたことを今でも懐かしく思い出す。

名香会は年配者がほとんど、渡辺さんは2年足らずで盛岡へ、入れ替わりにRSK退職後の小畑和子さんが入会、器用で感覚の良い作品が数多く創られた。残念ながら68歳であの世へ行くことになった時、無駄な延命や抵抗をするつもりはない、

皆さんとお別れにきり絵の個展をしようと思うが、どう思う?という相談を受けたときには、涙が止まらなかった。

街はずれの彼女の友人の喫茶店が会場だったが、多くの友人知人が集まられたのは言うまでもないが、写真入りで大きく扱われた新聞記事を見て大勢の人たちがやって来て彼女のきり絵を鑑賞してくださった。きり絵は初めてという人も多かった。

嘉崎さんとお互い年取った話、眼が見え難くなった話を時にするのだが、先日二人で確認したのは長野さんがきり絵を始めたのは75歳だった、ということ。その年頃に自分が近づいてみると、見えない見えないと最初から言っていたかつての彼女のこと

とも思える。眼は見難くなっても称号が良く観るのはこれからかも知れない、などと考えると希望が湧いてくる。

岡山旭東病院のリハビリ棟に飾られている彼女の作品「浜木綿」花開時蝶来 蝶来時花開の二点は今も大勢の人たちに応援歌を送っている。私も時々その前に立って励ましを受けるのだが、先日、かつての彼女と親しかった方とその前で話した。

2006.7.25

## 太極拳 1日無料講習会

と き:10月4日(水)午後6時~8時  
会 場:さんかく岡山(会議室)  
岡山市表町三丁目14-1-201  
アークスクエア表町2階  
服 装:体操服などの動きやすいもの・運動靴  
主 催:日本中国友好協会岡山支部  
お問い合わせ先  
電話086-942-7508(岡田)  
090-3633-5714(青木)

## 《第78回日中文化講座》

日中友好協会 初代理事長

## 内山完造のふるさとを訪ねる

日 時:10月1日(日)8時45分集合  
岡山県民主会館へ集合

参加費:500円(交通費のみ)

内山氏のふるさと芳井町を訪ね、彼の日中友好協会交流への貢献の軌跡をたどり芳井町民俗歴史資料館を訪ねる予定です。

申し込みが必要です。

電話:090-7542-6139